

学校通信
ひがしやま 第14号

発行日 令和7年6月2日(月)
 発行者 別府市立東山幼稚園
 別府市立東山小学校
 別府市立東山中学校
 校(園)長 谷川 芳明

○校長室での面談についてV

- ・クラスの人数が少ないと、先生が小さな変化にも気づいてくれる。
- ・進級して、行事を経て、友だちとの距離が縮まった。修学旅行で、一層、仲良くなった。
- ・下級生から目標にされる上級生になりたい。そのためには、日々、意識して過ごす。
- ・部活動でサッカーをやってみたい。
- ・誰かが困っていたら寄り添う。自分がそうされてうれしかったから。

[illegible]

○「きまぐれ図書館 読み聞かせ編」(5/31)

- ・雨天により、低学年による読み聞かせ、そして6年生による「怖い話」の朗読がありました。「読み聞かせ」については、まず、「読み手」の希望者を募り、その中から順番を決め、さらに



読み聞かせの練習を経て、本番へ「デビュー」という流れだそうです。

なお、「きまぐれ図書館」では読み聞かせのほかにも「怖い話」や「おりがみクラブ」など工夫を凝らした催しがあります

[illegible]

○中学部養護教諭着任 (6/2)

- ・6月1日付けで、青佐光咲(あおさ みさき)養護教諭が着任しました。本日の全校朝会で園児、児童生徒に紹介しましたので、お知らせします。

[illegible]

○全校朝会にて (6/2)

- ・6月1日(日)に市内で開催されたイベントの中で、本校の児童が多数参加する表現活動(ダンス)を見る機会がありました。暑い中、屋外での練習成果の発表でしたね。

演技終了後、私に話しかけてくれた児童の中には、「失敗した」と悔しがっていたように見受けられました。

そこで、全校朝会で、「練習しても、明日、明後日でそんなに変化はないと思います。だけど、今やっていることが、とっても好きで、とても楽しくて、例えば1年間、続けられたとしたら、必ず、もっとうまくなってます。努力して、下手になる人はいませんか」という趣旨を伝えましたので。